


手に取りたくなる介護情報誌

あんず

TAKE FREE
82
2024.10



kitatikuzen.net

北筑前福祉会 

Kitatikuzen Magazine anzu CONTENTS

表紙 公募写真テーマ「きらきら」

写真：デイサービスセンター菜々



P 2

北筑前福祉事業所 Pickup
北筑前福祉社会ケアプランサービス



P 3

特集

外国籍スタッフ



P 5

特集

法人研修



P 7

介護豆知識の部屋

- ちょこっと筋カトレニング
- 日光浴しませんか



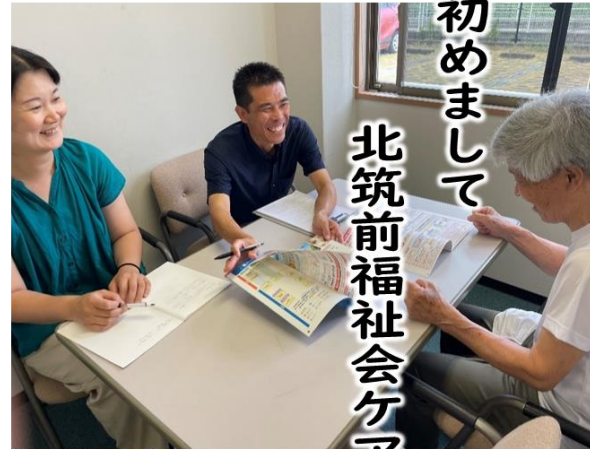
P 8

リクルート・ケアスクール

P 9

challenge & KATETE

デイサービスセンター菜々 「ナナカラ+plus」



初めまして

北筑前福祉社会ケアプランサービスです



01 東郷にある事業所 DSみのりと併設しています。宗像市と福津市を活動範囲としています。

北筑前福祉社会ケアプランサービス

〒811-3431福岡県宗像市田熊1丁目3番3号

TEL 0940-72-1175

FAX 0940-36-7215



02 介護現場経験もあるスタッフが、細やかな困りごとにも気づきフォローします。



03 “素敵な先輩がいた” ケアマネになるきっかけをくれる職員が、たくさんいる事業所です。



04 たくさんの方の選択肢を提案し、多角的な角度からご利用者やご家族を支えたいと思っています。

Kitatikuzen
Pick up

令和6年6月より
宗寿園ケアプランサービス
と津屋崎園ケアプランサービスは、サービス向上のため、
統合し「北筑前福祉社会ケアプランサービス」になりました。

私たちは、「安全と安心」「一人ひとりに寄り添う」ということを心がけ、ご利用者、ご家族の困りごとをマクロの視点で支え、その方らしい生活を支援できるよう努めてまいります。

また、働く職員たちも笑顔でなければならないと思っています。ワークライフバランスを考え在宅ワークや仕事効率など働きやすい職場であることが“支える”ために必要なエッセンスだと考えています。

北筑前福祉社会ケアプランサービス

特集

外国籍スタッフ インタビュー

今回のインタビューに協力してくれた3名のスタッフは、ベトナムやネパール出身の3名です。

— 楽しいことや、やりがいを感じることを教えてください

ご利用者に昔の話を聞く時が一番楽しいです。

— そう。最近は何が利用者からネパール語を覚えて挨拶してくれます。

言葉を覚えてくれて嬉しいですね。

— 年間行事員になったので、イベント準備も参加できて毎日新しいことを勉強できることが嬉しいです。

— やっぱ、「ありがとう」と言われると嬉しいですね。

— では、大変と感じることはありませんか

— 仕事が多くて人が足りない時は大変です。

— 言葉がわからない時は困る。だから、ご利用者の変化を

— 伝えたくても言葉がすぐに出ない時は、看護師さんを

— 利用者さんの所へ連れてきて「ここです」と見せたりします。

— 前は、言葉が分からなくて「だめだなあ」と思ってたけど

— 今は、「ちよっと待っててください。辞書で調べます」と言ってます。

— 皆さんも優しく教えてください。

— 今後の目標を教えてください。

— 介護福祉士の資格をとりたいです。

— あと、ご利用者さんの家族にも報告などの対応が

— できるようにになりたいです。

— 楽しいことも、大変なこともあるので精神的に

— 強くなりたいです。

— 私は、ユニットのみんなと協力して楽しく仕事がしたいです。



世界の優しさで あたたかいケアを



「毎日新しいことを勉強できて楽しいです」

今回のインタビューに協力してくれた3名のスタッフは、最初は緊張しながら話を始めていた外国籍スタッフ達も「ご利用者と話しているときは楽しい」と介護の話を始めると皆さん、笑顔で優しい介護職の顔に変化していきました。



現在の外国籍スタッフの人数は14名です。どのスタッフも明るく一生懸命仕事している姿が印象的でした。現場スタッフからも、「勉強熱心で、信頼できる仲間です」というコメントも。

コミュニケーションがなにより大切です

— 関わるうえで、配慮している事は、コミュニケーションをたくさんとること。

— 積極的に声をかけ話しやすい

— 関係性を保ち「ここで働いて

— よかった」と思ってもらえる

— ように努めています。

— また、根気よく彼ら彼女らにも

— 指導してくれるスタッフ達にも

— 感謝しています。



職員ケア推進課の麻生課長
外国籍スタッフからは、「おかん(お母さん)みたいと、
信頼されています」

特集

学びは楽しい

新人職員からベテラン職員まで幅広い層に響く研修を実施しています。知識と熱量で、あなたの笑顔を支えます。

研修を通じて笑顔を支える

次世代職員研修

未経験・新人職員向けの研修も開催
北筑前福祉会を支える若き専門職たち
高齢者介護への理解を深めより良い
ケアの実現を目指します。



認知症研修/介護研修

法人の介護専門委員会を中心に
だれもが質の高いケアが提供できる
ように、常に新しい技術やマインドを
研鑽し、発信しています。



外国籍スタッフ実技研修

専門知識や言葉の壁も乗り越えるため
丁寧に伝え、外国籍スタッフのサポート
につながっています。
学ぶスピードはそれぞれでも、ご利用者を
支えたいという気持ちは一緒です。



管理者/役職者研修

ご利用者だけでなく、職員全員を支える
ことができるように、より専門的な内容
を学ぶ研修もあります。働きやすい
職場作りを目指して全力で学んでいます。



学びたい気持ちがあっても、仕事をしながら自分で研修を探して受けに行くことが難しく
法人が学びを準備してくるのでありがたいです。
また、“研修”を受けることで新しい知識や気づきを得られることが嬉しいし、
そこで出会う他事業所の職員たちと話し過ごすことで「一緒に頑張ってる仲間がいる。私も頑張ろう」と
思える時間になります。（受講職員さんより）

自己研鑽ができる環境を整えます。

当法人は研修チームが、職員の育成やモチベーション
アップにつながる研修を立案します。
現場や仕事の悩みをそのままにせず、研修を通じて解決の
ヒントになればと考えています。
“学んだ”という自信が原動力になり、より良い介護を提供
でき、ご利用者やご家族が笑顔になっていただきたいです。



▲職員の声聴き研修を担い立てる
研修チームのみなさん

介護豆知識の部屋

ちょっと筋力トレーニング ～前傾姿勢で、下肢の筋トレ～

今回は、前傾姿勢を取り下肢筋力を鍛える体操をご紹介します。3回を目安に、空き時間を利用して、毎日コツコツ、レッツ筋トレ！

01



両足を開き、両手を組んで前に伸ばします。

02



背中を伸ばしたまま、上半身を前に倒します。この姿勢を8秒間維持しましょう。

03

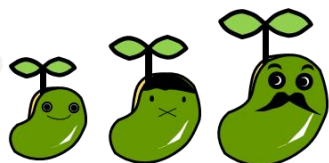


ゆっくりと元の姿勢に戻ります。



知識

～日光浴、しませんか～



丈夫な骨を作るのに必要なカルシウムの吸収を良くする、といったことがあります。健康に毎日過ごすために、日光浴は欠かせないですね。

そんな日光浴ですが、毎日長時間外に出る必要はなく、週に3～4日、15分/日を目安でOKです。秋の気配を肌で感じながら、ちょっとお散歩する習慣を作ってみてはいかがでしょうか？

※あくまで目安です。ご自身の体調と相談しながら、無理のないようにしてください。

日光浴の効果は、身体の体内時計がリセットされて夜の快眠に繋がり、脳内の幸せホルモン(セロトニン)が分泌されることで精神を安定させてくれたり、日光浴で作られるビタミンDの働きによって

RECRUITE Instagramのご紹介

【公式】北筑前福祉会（広報&採用チーム）



私たちが
創るミライ
イカイ

北筑前福祉会公式Instagramを運用しています。このInstagramでは採用情報や法人内の取組みについて紹介しています。写真や動画を通じて私たちの取組みをぜひご覧ください。



@SAIYOUTEAM.KITATIKUZEN

法人説明会・施設見学会

当法人では新卒の学生さんはもちろん、中途採用の方やご興味を持っていただいているみなさんを対象に「法人説明会・施設見学会」を随時実施しております。決定したスケジュールについては公式Instagramでお知らせをしています。また、対面だけではなくオンライン説明会も実施しておりますので、遠方の方も気軽に参加できます。

私たちの取組みを聞いてみたい・見てみたいと思っただけの方にはぜひInstagramをチェックしていただくか、下記担当までお問合せください！

北筑前福祉会 採用担当：まつぎき
0940-33-0246



デイサービスセンター菜々

認知症当事者がウエイターとして皆様をおもてなしいたします



Challenge & KATETE

広い心でご来店を

喫茶「ナナカラ+plus」は月に2回開催され、菜々に敷地内にある「憩いの広場」と宮地嶽神社近くの空き家をお借りして開店しております。ウエイターをご利用の皆様が担ってくださいませ。「いらっやいませ。初めてだからわからないの」と、照れ笑いしながらお迎えしています。

もしかしたら、注文を間違ってしまうかも。。。広い心でご来店くださいませ。



菜々から繋ぐ

菜々の活動は「私たちの活動がどこかの誰かに喜んでいただいている」というコンセプトがあります。

認知症という病気や加齢に伴い、だんだんと地域社会との繋がりが減っていることが現状です。活動を通じて「地域に繋がる」ことは、「楽しみ」や「役割」となり日常生活に穏やかな刺激になっています。売上げは赤い羽根共同募金に寄付することで、地域の子どもたちと一緒に支えるお手伝いをしています。

表紙コンテスト：「きらきら」

広報誌 あんずの表紙写真コンテストを開催いたしました。テーマに沿った「きらきら」とした作品がたくさん応募されました。グランプリ作品と惜しくも表紙に掲載されなかった作品をご紹介します。



グランプリ

認知症対応型通所介護 デイサービスセンター菜々

青空の下で黄色いきれいな銀杏を拾う写真は、季節感が深い暖かい様子ですね。自然と一緒に暮らし、昔からの習慣を繰り返す。季節を感じられ、とてもきらきらしていました。

準グランプリ

グループホームWATARI

線香花火の小さく揺れる火花と、それを静かに見守る姿が優くもきらきらと美しく、情緒にあふれる素敵一枚でした。



ノミネート作品

写真から感じられる輝きと喜びが「今をきらきらと楽しんでいる。」という気持ちが伝わってきます。



デイサービスセンターゆう



デイサービスセンター菜々



グループホーム



デイサービスセンターみのり



特別養護老人ホーム 第二津原崎園



デイサービスセンター望々庵



由が丘デイサービスセンター



特別養護老人ホーム 津原崎園